

7月1日(水曜日)より、大阪天満宮の祭礼・天神祭船渡御の舞台である八軒家浜に

錦絵「浪速天満祭」の巨大タペストリーを屋外展示します



錦絵「浪速天満祭」(作・五雲亭貞秀、1859年/木版画) 大阪府立中之島図書館所蔵

水都大阪コンソーシアム(※1)では、水の都大阪を象徴する天神祭を描いた錦絵「浪速天満祭」(五雲亭貞秀作)を縦3メートル、横5.8メートルの巨大タペストリーとして印刷し、天神祭船渡御が行われる7月25日(土曜日)に向けて7月の1か月間、船渡御の舞台である八軒家浜遊歩道に掲出展示します。展示を通して天神祭の気分を盛り上げるとともに、大阪が水の都であることを認識、実感してもらおうというものです。

作品からは詳細な祭の様子や江戸時代の風俗が読み取れることから、大阪天満宮文化研究所所長の高島幸次氏による作品解説動画を併せて作成してYouTube(ユーチューブ)に投稿するとともに、タペストリーの2次元バーコードからも読み込み可能とすることで、作品への知識を深めることができます。

詳細は次ページのとおりです。



現地設置イメージ

錦絵「浪速天満祭」の巨大タペストリーの展示について

【錦絵「浪速天満祭」について】

この作品は、江戸から明治にかけて活躍した浮世絵師・五雲亭(歌川)貞秀が江戸時代の末期1859年に大阪天満宮の天神祭・船渡御の様子を上空から見渡すような構図で描いた3枚続きの大判錦絵です。原寸は、縦36.8センチメートル、横70.8センチメートルです。

打上げ花火や、ひしめく屋形船、大勢の見物客など、一目で祭の華やかさや、活気が伝わってきますが、近づいて見てみると、人ひとりひとりの個性が描き分けられていたり、各所に解説コメントが添えられていたりして、当時の天神祭の様子を生き生きと、かつ詳細で膨大な情報量で伝えてくれています。

【展示概要について】

掲出物:横断幕(縦3.0メートル×横5.8メートル)を壁面に掲出

展示場所:八軒家浜遊歩道「川の駅はちけんや」西側壁面(大阪府中央区北浜東2-1 地先)

展示期間:令和8年7月1日(水曜日)～7月31日(金曜日) ※夜間照明はありません。

観覧:自由

【作品解説動画について】

作品の見どころを大阪天満宮文化研究所の高島幸次所長が解説します。約13分。動画は以下から閲覧できます(7月1日(水)よりYouTube「水都大阪チャンネル」にて一般公開します)。



<高島幸次(たかしまこうじ)プロフィール>

1949年大阪生まれ。専門は日本近世史・天神信仰史。龍谷大学エクステンションセンター顧問、大阪天満宮文化研究所所長。夙川学院短期大学教授、本願寺史料研究所委託研究員、追手門学院大学客員教授、大阪大学招聘教授などを歴任。2012年度大阪市市民表彰(文化功労)。著書に『大阪天満宮と天神祭』(創元社)、『奇想天外だから史実 -天神伝承を読み解く-』(大阪大学出版会)、『日本人にとって聖地とはなにか』(内田樹・釈徹宗・茂木健一郎・植島啓司と共著、東京書籍)、『上方落語史観』(140B)、『古典落語の史層を掘る』(和泉書院)など。



(※1)水都大阪コンソーシアム

「水と光の首都大阪」の実現のため、平成29年に大阪商工会議所、公益社団法人関西経済連合会、一般社団法人関西経済同友会、大阪府、大阪市、公益財団法人大阪観光局、大阪シティクルーズ推進協議会で構成する公民共通のプラットフォームとして設立。四季折々の「水の都大阪」の魅力を発信するため、季節ごとに「水都大阪ウィーク」を冠した事業を展開しています。

以上

ご参考

水都大阪コンソーシアムでは、水の都大阪についての知識と愛着を深めてもらうためのコンテンツを制作しています。

【水都大阪の教科書】

水から生まれた都市・大阪の成り立ちと変遷、未来を紡ぐ今を時代に沿ってまとめた水都大阪の歴史の決定版。

2023年3月31日第1版発行

A4サイズ64頁

監修：橋爪紳也、嘉名光市

企画・編集・執筆：株式会社ワイキューブ



【水都大阪かるた】

水都大阪の歴史や魅力のすべてを詰め込んだ創作かるた。子供から大人まで遊びながら水都大阪への知識と愛情が深まっていく。かわいいイラストも人気。読み札の読み上げ音声版は、視聴したり、かるた大会でも利用できる。

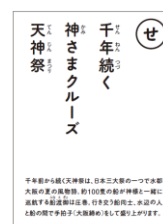
制作：2024年3月

監修：橋爪紳也、嘉名光市

企画・編集・執筆：株式会社ワイキューブ

デザイン：株式会社サトウデザイン

イラスト：日比野尚子



【水都大阪 水辺散策手帖】

水の回廊と呼ばれる大阪市内の水辺をエリア別に、見どころやいわれを紹介。散策に便利なB5サイズ42頁。

発行：2025年7月

監修：高島幸次

編集：株式会社ビッグアップル・プロデュース



【淀川絵巻タペストリー】

1800 年前後の大阪中之島から京都伏見までの淀川流域の情景を描いた折本「よと川の図」を縦 1.5m、横 25mの巨大横断幕に印刷したもの。毎年桜の時期に天満橋・八軒家浜に掲出したり、2025 年には大阪・関西万博会場にも展示した。この絵画の解説を浪曲師・春野恵子さんによる音声ガイドで楽しめる。

制作:2019 年

音声ガイド監修:大阪くらしの今昔館

アドレス:

<https://www.youtube.com/watch?v=yz80uPlpJys&t=8s> (5本のうちの最初の1本)



【創作浪曲「水の都の大阪めぐり」】

水都大阪の繁栄の歴史と魅力を歌い上げた創作浪曲。YouTube 動画で観ることができる。

制作:2020 年

浪曲:春野恵子

台本:米井敬人

監修:高島幸次

アドレス:

https://www.youtube.com/watch?v=eFsguyo1_0s&list=RDeFsguyo1_0s&start_radio=1



浪曲「水の都の大阪めぐり」春野恵子

【船に乗って水上から大阪をご案内 I・II ～船上で花咲く～水都大阪よもやまばなし】

「水都大阪の教科書」の執筆者である水辺の達人・杉本容子氏が船に乗って大阪市内の河川を遊覧し、雑談を交えながら水都大阪を案内する YouTube 動画。「大川・中之島編」(43 分)と「水の回廊・ベイエリア編」(48 分)の2本立て。

制作:2025 年

アドレス:

<https://www.youtube.com/watch?v=lOvtdZnt2bo>

<https://www.youtube.com/watch?v=2fqxa80FqBo>



大川・中之島編

水の回廊・ベイエリア編